

会議名	第4回地域計画分科会		公開
日時	令和元年10月18日(金) 午後7時30分～午後9時00分	場所	一鍬田公民館 2階 集会室
出席者	(委員) 伊田雅美、小林勝則、加藤久美子、山本いづみ、井上こずえ、 滝川多嘉子		
	(事務局) 自治振興課：加藤課長 自治振興事務所：松井所長、森下主事		
欠席者	(委員) 夏目祐輔	傍聴者	25名
配布資料	次第		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。
また、本日の分科会は地域活動団体の代表者などが傍聴者として参加しており、活発な意見交換を行うため、傍聴者の制限なし、傍聴者の発言も認めることを協議会会長へ確認し、承認を得た。

2 意見交換会

はじめに、本日、出席していただいた地域活動団体、各行政区長、協議会委員の自己紹介を行った。自己紹介の中では、各団体の活動内容、今後の方針などを紹介していただいた。

＜主な意見＞

(南部少年野球団)

- ・週1～2日で活動しており、少子化によりチームメンバーが減っている。(現在のチームメンバーは17名)

(八名青パト隊)

- ・平成21年10月から活動を開始。発足当時の人数は38名。
- ・メンバーの高齢化が進んでおり、隊員の確保が困難。女性隊員も増やしたい。

(黒田花を楽しむ会)

- ・平成20年度から活動を行っている。
- ・菜の花を主としており、5月に種取り(他地区からの訪問者あり)、10月下旬に八名こども園年長による種まき体験、2月中旬に八名こども園へ菜の花プレゼント、3月上旬に菜の花祭りを開催。
- ・メンバーは10名いるが、今後は誰が継いでいってくれるか心配。

(祇園祭笹踊り後援会)

- ・地域活動交付金を活用し、山車を作成した。
- ・お披露目式、お祭りの際には、多くの方が来てくれた。

(コスモスの小径)

- ・活動は今年で9年目。活動にあたっては、自分たちでやれるだけやるとして、補助金は活用していない。今後も補助金は活用しない方針。
- ・メンバーの平均年齢は73歳であり、来年で区切りをつけるよう考えているが、できれば活動は継続していきたい。
- ・活動を引き継いでくれる団体を探している。
(八名青少年健全育成協議会)
- ・昭和56年度から活動を開始し、平成23年度から民生委員やこども会の役員を追加し、現在の名称へ変更した。
- ・3年前から地域活動交付金を活用し、活動を行っている。
(ふるさと遺産を保存する会)
- ・平成26年度から地域活動交付金を活用しながら、活動を行っている。
- ・活動において、ホームページに上げていないことが多くある。
- ・八名郷土史会と協力したり、車神社での自然観察会なども行っている。
- ・今後の活動にあたり、仲間を増やしていきたい。
(読み聞かせの会)
- ・読み聞かせの活動は、長年行ってきており、費用を必要としていない。
- ・読み聞かせを行うメンバーを増やしたい。
(世界の桜の園)
- ・平成元年から中宇利岡組の17戸の皆さんで活動を行っている。
- ・世界の方々が日本へ来た記念、思い出として桜を植えられる場所を提供している。
- ・これまで苗木を1万5千本ほど植えており、実質8千本生育している。
- ・場所の管理として、20町歩ほどの草刈りが大変。
(天王祭)
- ・実行員会での活動が困難となったことから、活動を見直し、平成30年度で従来の方法を中止することとした。
- ・活動の見直しに至った理由としては、若い人がいない、参加できる人がいない。
- ・メンバーの年齢が高くなることで、活動の敷居が高くなり、参加したい人が減ってしまったのではないか。
(五葉城を整備する会)
- ・地域活動交付金にてチップソーなどの道具を整備し、地元ボランティアで作業を行っている。
- ・整備は3年計画であり、
- ・メンバーは24名(実質20名)で年2日間整備作業を行う。
- ・観光地にしたい、地元をきれいにしたい、小学生の勉強の場にしたいという思いがあるが、タダ(ボランティア)での活動継続は難しい。
- ・ウォーキングや他市からの団体など来客数は増えているが、お客さんがお金を落とすところがないのが残念。
(八名井寿楽会)
- ・八名井地区には歴史や文化財が多くあり、はじめに八ツ井戸についての看板製作などを行った。
- ・今後も幅広く活動を行っていきたい。
(八名こども会)
- ・八名地区及び庭野地区で活動を行っているが、少子化によりこども会の体制が変わってきている。

(宇利城跡)

- ・代表が高齢となっており、登山道整備については、市からの補助により区が行っている。
- ・大河ドラマで取り上げられた際には来客が増加していた。
- ・駐車場も整備したため、皆さんに来ていただきたい。

(八名生涯学習クラブ)

- ・メンバーは10名ほどであり、高齢化が進んでいる。
- ・八名生涯学習クラブの活動内容は、教養娯楽講座と称し、教養面では学習、娯楽面では映画鑑賞なども行っている。
- ・ご協力いただける方は、活動に参加いただきたい。

(庭野祭青年会)

- ・庭野神社での祭礼において、青年会15名、世話人40名で活動している。
- ・2年前、地域活動交付金にて、観客が歌舞伎の内容を深く理解できるよう、プロジェクターを整備した。観客からも理解が深まったとの感想をいただいた。
- ・プロジェクターについては、庭野区の地域活動においても有効活用している。
- ・人手不足が課題であり、特に40歳以下のメンバーが減っている。
- ・歌舞伎の設備（テントなど）の老朽化も課題のひとつ。

自己紹介の後、4つのテーブルごとに意見交換を行った。

意見交換の中で出た主な意見は以下のとおり。

<主な意見>

- ・平日の活動のため、会員が不足している。
- ・通学路の草刈りにおいて、ボランティアで草刈りを行うと行政はそれをあてにして、次回から刈ってくれなくなる。
- ・道路上のごみ投棄が見られる。(特に国道301号)
- ・農地で住宅が建てられない。
- ・買い物(店)がない。
- ・病院がない。
- ・活動交付の申請で審査の方法を簡素化できないか。
プレゼンを省略又は簡素化し、主張したいことだけ発表し、あとは質問に答える。
- ・舞台のテントが古く、数年後に新しくしたいが、高額なため、交付金申請していいか迷っている。
- ・高齢化に伴う会員の減少について、後継者を会員の一部で募ってもなかなかいないであろうから、八名地区全体に募ってはどうか。
- ・後継者を育てるのが困難。
- ・定年退職の年齢が上がってきたため、余裕のある人が少ない。
- ・コスモス、五葉城などに関して、地元の関心が薄い。テレビや新聞等で取り上げられても、それに反応するのは地域外の方が多い。
- ・団体同士の連携が必要である。

- ・小中学生も一緒になって活動してもらうことで、中学生などに八名の現状を知ってもらう。また、興味を持ってもらうきっかけにもつながる。
- ・地域活動交付金において、人件費も認めるべき。ボランティアだけでは活動し続けることは困難であり、少しの収入があればやりたいという人もいる。
- ・後継者について、団体を立ち上げる場合、活動の中で複数の後継者を育てていくべき。

組織として団体運営を考えるべき。

- ・市としても新城の歴史をもっと **PR** してほしい。
- ・地域活動交付金の申請が面倒であり、プレゼンすることが大変であるため、簡素化してほしい。申請が簡素化されれば、やりたい活動は多くある。
- ・地域活動交付金について、各行政区に割り当てるものとしてはどうか。各行政区ごとに交付金の活用を考え、その交付金の使い方は各行政区長に認めてもらうのはどうか。

3 その他
特になし

4 閉会